



松戸市あんしん一声運動 オレンジ声かけ隊の役割

あんしん一声運動とは

- ▶ 普段の生活の中で手助けが必要な高齢者を見かけた時に、「何かお困りですか?」「お手伝いしましょうか?」と声をかけ、高齢者を地域全体で温かく見守っていくことを目指した運動です。
- ▶ このあんしん一声運動は認知症サポーターのうち『**オレンジ声かけ隊**』が行います。オレンジ声かけ隊に決まった活動はありません。日常の中で、高齢者を温かく見守ってください。
- ▶ さらに、専門職と一緒に実践的に活動するボランティアをしてみたい方は、『**オレンジ協力員**』に登録することができます。



オレンジ声かけ隊 実際の活躍事例

- 近所で、困っていそうな方がいたのでお声をおかけした。
- 「家族のために買い物に来たが歩けなくなった。是非とも買い物をして帰りたい。」とのこと。
- 車椅子を探したが近くになし。近くの高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）に連絡し、支援をしてもらった。

まず、困った方にお声をかけていただいたこと、これだけでも素晴らしいオレンジ声かけ隊の活動だと思います。さらに素晴らしいのが、高齢者の相談窓口である高齢者いきいき安心センターにご連絡をいただき、支援に繋がったことです。



オレンジ声かけ隊のみなさん お願いしたいこと

- ▶ 日常生活で困っている人がいないか意識してみてください
- ▶ 困っている方が居たら声をかけてみてください
- ▶ 必要に応じて、高齢者いきいき安心センターや警察等にご連絡ください
⇒お一人で助けようとしなくても大丈夫です。
- ▶ 近所に認知症の方がいたり、認知症の人を介護している人が居たらやさしく見守ったり、声をかけてみてください
⇒ご本人や家族にとって、理解者がいると安心に繋がります。
- ▶ 行方不明高齢者についての防災無線を聞いたら、意識して周りを見てみてください
⇒遠くまで移動している場合もあります。たくさんの方に意識して探していただくことで、早期の発見に繋がります。

ご協力お願いいたします。

